

追悼シンポジウム ～もろさわようこが沖縄で育んだ「志縁」～

生涯を通して「戦争、おんな、沖縄、部落差別」の課題を追求し続けてきたもろさわようこさん。2024年2月29日に逝去されました。99歳でした。

もろさわさんは、日本の女性史をジェンダーの視点で編み直した先駆者です。2023年8月に出版された、『沖縄ともろさわようこ 女性解放の原点を求めて』の編者である源啓美さんと河原千春さん、沖縄女性史研究家の宮城晴美さんのお三方に、「もろさわようこが沖縄で育んだ『志縁』」について語っていただきます。



▲もろさわようこさん(1997年)
撮影・大城弘明

日時: **8月10日(土)** 午後 **2時～4時**

会場: なは市民活動支援センター 会議室 1 (なは市民協働プラザ2階)

対象者: 関心のある方 対面: **50人**(事前申込先着順) オンライン定員: **100人**

*市在住・在勤・在学の方は、一時保育(2歳児以上未就学児)・手話通訳がご利用できます。8月2日(金)までにお申し込みください。

【開催方法】
対面とオンライン
*本講座はリアルタイム
配信のみとなります♪



1949年座間味村生まれ。沖縄の郷土月刊誌「青い海」編集部を経て那覇市女性室に勤務。1991(平成2)年、那覇女性史編集事業の一環としてスタートした「市民女性学講座」の講師をもろさわさんに依頼。『なは・女のあしあと 那覇女性史』(全3巻)刊行後、那覇市歴史資料室(後の歴史博物館)へ異動。退職後は県内4大学で沖縄女性史、ジェンダー論などの非常勤講師を10年余り勤める。現在、新沖縄県史編集委員会副会長。



パネリスト
宮城晴美さん



パネリスト
源 啓美さん

1948年渡嘉敷村生まれ。1967年ラジオ沖縄入社。沖縄、女性、環境、人権などをテーマに取材・番組制作。1985年「うないフェスティバル」を立ち上げ(日本婦人放送者懇談会賞(現放送ウーマン賞)と年間最優秀プロデューサー賞を受賞)、10年間プロデュース。報道、コピーライター、制作を経て、2008年定年退職。1995年「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」立ち上げメンバー。2000年から事務局長。沖縄9条連共同代表。一般財団法人「志縁の苑」評議員。琉舞歴50年(琉球新報古典芸能コンクール最高賞受賞)。

横浜市出身。国際基督教大学卒業後、2007年信濃毎日新聞入社。飯田支社、長野本社報道部を経て、2013年に異動した文化部の取材でもろさわようこさんに出会う。編著に『志縁のおんな もろさわようこことわたしたち』、共著に『認知症と長寿社会 笑顔のままで』(新聞協会賞など受賞)。もろさわさんの著作編集に『新編 おんなの戦後史』『沖縄ともろさわようこ 女性解放の原点を求めて』。お茶の水女子大学大学院ジェンダー社会科学専攻在学中。



パネリスト
河原千春さん



QRコード
講座の申込み、

講座を終えて

沖縄女性史から「トートーメー」継承問題を考える

日時：2024年6月8日(土) 午後2時～4時 (参加者41人)

講師：宮城 晴美さん(沖縄女性史家)



▲講師の宮城晴美さん。

「トートーメー(位牌)」の継承から「女性が排除される」という問題は、「男女平等」に反しているのではないのでしょうか。この問いについて、沖縄女性史家の宮城晴美さんを講師にお迎えして、講座を開催しました。

「沖縄女性史とトートーメーの継承」

講義は、トートーメーが15世紀に中国から琉球王朝に「直輸入」され伝わって来たことから始まりました。琉球王国時代の土(サムレー)の「家」や「門中」の考え方についても説明があったほか、受講生は、廃藩置県、明治時代、アメリカ世、さらには1980年代の各地で開催されたシンポジウムを機に女性たちが声を上げ連帯の輪を広がっていった現代まで、時代とともに住民に受け継がれてきたトートーメーについて学びました。

「トートーメーにまつわる今後の課題」※抜粋

【男性の場合】長男であるため、進学や就職で県外に出してもらえないこともある。

【女性の場合】親の位牌が継げず、財産ももらえないこともある。

【夫婦の場合】男児が生まれないと、養子にする予定の親戚の男子の学費援助などをしなければならないこともある。

「おわりに」

質疑応答では多くの質問がありましたが、宮城さんは「トートーメーや財産の継承を長男にこだわることで、家族の誰かが苦しむことになります。子や孫に負担を継承しないために家族の話し合いが大切なのです」と明快にお話をされていました。

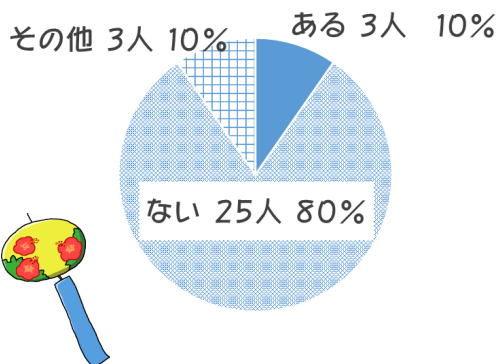
今回の講座をきっかけに、皆様もトートーメーや家族のこと、行事のことについて、話し合うきっかけにしてみてもいいのではないでしょうか。



▲講座の様子

受講者アンケートから(31人回答)

☆トートーメー(位牌)の継承者が女性になることに対して抵抗感がありますか？



●「今後、講義内容をどう活かしたいですか？」

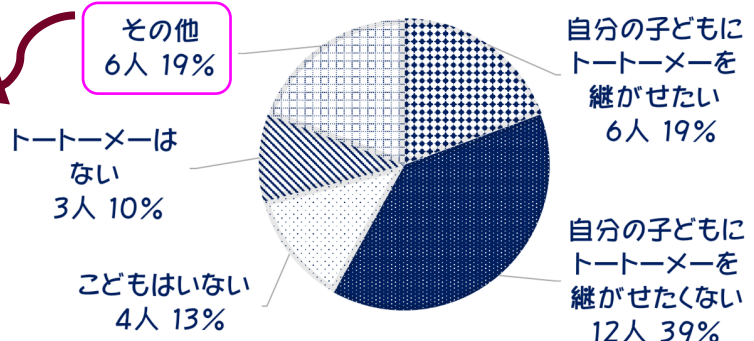
- ☆出来るだけ継承したいが、未婚なので「墓じまい」も考えたい。
- ☆「永代供養」について前向きに考えたいです。
- ☆家族みんなで話し合いをしたいと考えています。
- ☆自分自身の終活の指針として活用したい。
- ☆私は「こう思う」ということを、夫の両親や家族にちゃんと伝えたいと思っています。
- ☆選択はいろいろある。決定するのは自分だと勇気づけられた。
- ☆家族や親族で話し合うことで、いい方向に向かうのでは？と思っています。



☆自分の子どもにトートーメーを継がせたいですか？

★その他の意見

- ☆本人が継ぎたい場合のみ
- ☆本人が希望するならお願いする
- ☆子どもに任せる。どちらでもよい。



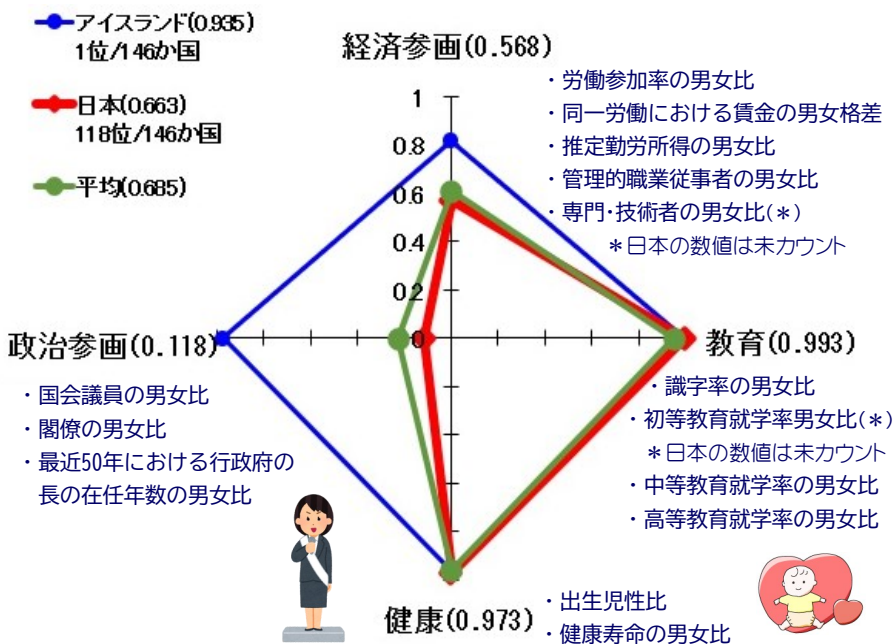
男女格差(ジェンダー・ギャップ)指数ランキング2024

146か国中 **118位**

世界経済フォーラム(WEF)では、各国のジェンダー不平等状況を分析した2024年版「ジェンダー・ギャップ指数(Gender Gap Index:GGI)」を発表しました。男性に対する女性の割合(女性の数値/男性の数値)を示しています。0が完全不平等、1が完全平等となります。

日本は昨年の125位/146か国から118位となり、わずかに前進しました。これは「政治」分野で女性の閣僚が増加したことによりですが、先進7か国(G7)のなかでは最下位です。

女性管理職が少ないことや男女間の賃金格差などの改善が今後の課題となります。



日本の各分野の順位(146か国中)

分野(GGI)	順位(昨年)	各分野ごとの使用データなど
経済(0.568)	120位(123位)	労働力、同じ仕事の賃金の同等性、所得の推計値、管理職に占める比率、専門職に占める比率 *労働参加率の男女比、同一労働での男女の賃金格差が大きく、女性管理職比率が低い。
教育(0.993)	72位(47位)	識字率、初等・中等・高等教育の各在学率 *中等教育(中学校・高校)の在学率は高いが、高等教育(大学・大学院)の女子の在学率が低い。
健康(0.973)	58位(59位)	新生児の男女比率、健康寿命 *男女ともに平均寿命が長いことなどにより評価は多少良くなっている。
政治(0.118)	113位(138位)	国会議員に占める比率、閣僚の比率、過去50年の行政府の長の在任年数 *国会議員の男女比、閣僚の男女比など、女性の占める割合が低い。

出所: 内閣府HP「ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2024年」より作成



★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。★貸出し期間: 2週間 お一人2冊まで

オススメ本をご紹介します!

『それ恋愛じゃなくてDVです』

瀧田信之 著/藤原千尋 構成
WAVE出版/2009年3月31日発行



「この恋、楽しくない」

恋愛自体は、他者との深いつながりや共感を経験することや、愛情を分かち合い人生がより豊かになる、とても素晴らしいものです。

しかし、恋人の束縛やいきすぎる嫉妬、愛されているが故の行動だと思いきや、なんとなく最近、恋人との恋愛が「楽しくない」気がする…。

そんな風に考えるようになった原因は、もしかしたらデートDVかも知れません。

本書では恋愛においての様々な暴力(DV)や、なぜDVに陥ってしまうのか、事例を交えて綴り、見えない暴力に気付き、暴力から身を守るための実質的なアドバイスが掲載しています。

『沖縄と もろさわようこ 女性解放の原点を求めて』

「地域女性史の先駆者と沖縄の50年の歩みを振り返る84編」

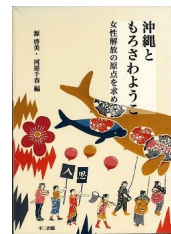
源啓美・河原千春編/もろさわようこ ほか 著
不二出版 発行/2023年8月15日発行

長野県佐久市出身で、独自の視点で女性と社会の関わりを分析し、在野から発信を続けた女性史研究家のもろさわようこ氏。

もろさわ氏は1972年に初めて訪れた「復帰」直後の沖縄で、女性が主体性を持つ文化・祭祀風俗に出会いました。そこで見た沖縄の女性たちの姿に女性解放像を見出したもろさわ氏は、1972年～2023年まで沖縄と関わり続けます。

『信州のおんな』『おんなの戦後史』(未来社)などの著作で知られ日本の女性史をジェンダーの視点で編みなおした先駆者だったもろさわ氏。

本書は、女性史研究家もろさわ氏の50年にわたる沖縄との関わりとの集成であり、生活者としての女性の主体的な生き方を問いかける一冊です。



相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用してみませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談 ● 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)



098-861-7515

相談時間 ▶ 月～土 午前9時～12時／午後1時～5時

面接相談
申込
QRコード



8月1日から相談室「ダイヤルうない」の面接相談の申込みがオンラインでも、できるようになります！
面接相談のオンラインお申込みは、ご希望の日時を確認後、相談員からご連絡いたします。

おしらせ

「ストップ・DV」情報提供



相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

周辺地図



駐車場のご利用について

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」をご利用ください。ご利用は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

☆なは女性センター利用者の一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間ごとに	100円
※利用時間が1時間に満たない場合は1時間として計算。	

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」は、市長がパートナーシップ・ファミリーシップの関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、「登録証明書」及び「登録証明カード」を交付するものです。

- 「性の多様性を尊重する都市・なは」宣言(レインボーなは宣言)の理念に基づく取り組みです。登録によって何らかの法律上の効果(相続、税金の控除など)が生じるものではありません。

登録数 63 組
うちファミリーシップ 3 組
2024年7月15日現在
これまでに登録された方へも「登録証明カード」の交付ができます。

- お問い合わせ・申請の予約

TEL. **098-951-3203** ◆ 月～金:午前9時～午後5時
＊ 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始(12/29～1/3)を除く

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録に関するお知らせ



令和6年3月11日から、パートナーシップ・ファミリーシップ登録をした方の住民票の続柄を申請により、「縁故者」として記載できるようになりました。

＊同一世帯で一方が世帯主である場合のみ。

- ◆対象者: 那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録簿へ登録を行っている市民

- ◆申請場所: ハイサイ市民課(那覇市役所本庁舎) 三支所(真和志・首里・小禄)

＊那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録証明書等をご提示ください。

詳しくは、ハイサイ市民課までお問い合わせください。

- ◆お問合せ ハイサイ市民課 住民記録グループ

TEL. 098-862-3274 (那覇市役所本庁舎: 泉崎1-1-1)

with you おきなわ

沖縄県性暴力被害者ワンストップ支援センター

はやくワンストップ



#8891

24時間 365日

※繋がらない場合は、098-975-0166へ

性暴力の被害にあわれた方の意思を尊重しながら、医療的支援を含めた必要な支援を行っています。

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。

＊開催予定が決まり次第、お知らせいたします。

主催: 市民団体ていーだあみ

メール: tiidaami.okinawa@gmail.com

「フェイスブック」でもお知らせしています♪



◆なは女性センター講座について

＊受講希望の講座は、なは女性センター窓口、電話、FAX、申込みQRコードでお申し込みください。また手話通訳、一時保育の利用は、那覇市在住・在勤・在学の方が対象です。(事前予約が必要)

お問い合わせ

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)

TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204

Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

なは女性センターホームページQRコード⇒



開館時間

休館日

月～金:午前9時～午後9時 年末年始(12/29～1/3)

土曜日:午前9時～午後5時 日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)